

お家での課題 難易度：★★☆

窓の外の風景をスケッチしてみよう

窓から見える風景を描いてみましょう。

お隣のお家や、電信柱、道路や植木など
いろいろなものが見えると思います。



★用意するもの

- スケッチブック(A4~B4サイズ程度) なければコピー用紙などでも構いません。
- えんぴつ または ボールペンや油性マジック
- けしごむ
- 色えんぴつ または 水彩えのぐ

★上手に描くコツ!

①どこまで描くか、範囲を決める

外の風景をすべて描くのは難しいです。

どこまでを紙に描くか、風景を切り取るような気持ちで
指で四角を作ったのぞいてみましょう。

②細かく描くところとおおざっぱに描くところをつくる

「お隣のお家の自転車がかっこいいな」とか「植木の花がきれいだな」とか、
風景の中で「ここが素敵だな」と思ったところは細かいところまで描いてみましょう。
逆に遠くの景色はざっくりおおまかな形だけでも構いません。

③色はすべて塗らなくてもよい

陰になっている暗いところだけ色をぬってみたい、

②で感じた「素敵なところ」だけに色をぬってもかっこいい風景画になります。

また、えんぴつで描いた上からボールペンやマジックで
なぞってもかっこよくなりますよ。

★上級テクニック

①黒を使わずに色をぬる

暗い色を作るときに、黒を使わないで作ってみましょう。

補色を混ぜると独特な暗い色ができます。

(補色…赤と緑、青と橙、紫と黄など、色相環で正反対に位置する関係の色)

②色の三原色だけ使ってぬってみる。

色の三原色…赤・青・黄

この3色だけを混ぜて、さまざまな色を作ってみましょう。

明るい色で塗りたいときは、水を多めにして薄くして使ってみるとよいです。

③はじめからボールペンのみで描いてみる

えんぴつでの下書きをせずに、じっくり見て描いてみましょう。

「失敗した!」と思っても、気にせず、新しい線を描いていきましょう。

★絵ができたら、裏に描いた日の日付と自分の名前を書いておきましょう。

できた作品はメールで送ってください。

アトリエ遊の先生が講評してお返事します。

また、ブログでも紹介させていただきます♪